

## 【元総社地区】

### ■地区の特徴と課題

- 中心市街地に隣接する当地区は、東京・高崎方面からの大動脈である国道17号や関越自動車道前橋ICに象徴されるように、本市における交通の要衝として発展を続けています。
- 昭和30年代から始まった土地区画整理により都市的に整備された区域が多く、整然とした街並みの住宅地のほか、商業地や工業地などの多様な用途が集積しているのが特徴です。
- 古墳や国府跡、千年以上の歴史を有する古社などの存在から「東国文化の中心地」と称されており、地区の一部はそれらにまつわる歴史的風致が認められる範囲となっています。
- 都市的な整備が進む一方で、当地区ならではの豊かな歴史が感じられにくくなってきており、緑地も減少傾向にあることから、自然的景観や歴史的風致の維持向上が課題となっています。



### ■データ

#### 【地区指定等】

- 風致地区  
・厩城
- 地区計画  
①前橋問屋団地
- 歴史的風致が認められる範囲  
・元総社町の一部  
・元総社町一～三丁目の一部

#### 【主な景観資源】



総社神社  
(県指定重要文化財)



王山古墳  
(市指定史跡)



蒼海宿  
(前橋市景観資産)

### ■景観形成の方向性

- 前橋IC周辺～国道17号の沿道景観のあり方  
・東京・高崎方面からの入り口として、前橋らしさを感じられる沿道景観が求められます。
- 歴史的風致と自然的景観の保全  
・都市整備を進める際には、地区固有の歴史性や緑地の保全に十分配慮する必要があります。



群馬大橋付近から望む赤城山  
(前橋市景観資産)

## 【総社地区】

### ■地区の特徴と課題

- 当地区には古代から近代にかけての歴史的資源が数多く残ることから、市内では「歴史の宝庫」として認識されており、地区の一部は歴史的風致維持向上計画の重点区域に指定されています。
- 地区内には、整然とした街並みの住宅地や商業地、工業地が見られ、JR群馬総社駅周辺整備や隣接する吉岡町の人口集積なども相まって、地区のますますの発展が期待されています。
- 不整形な宅地や込み入った道路が多く見られる区域では、古墳や寺社の敷地の際まで住宅が建設されるなど、歴史的資源との調和が課題となっています。
- まとまった農地がある地区の南西部には、「養蚕農家とかしぐね」から成る独特の集落景観が残されていますが、社会情勢の変化等により、その維持保全が懸念されています。



—— 歴史的風致維持向上計画重点区域（総社及び総社山王地区）

### ■景観形成の方向性

- JR群馬総社駅周辺の景観のあり方
  - ・本市の北の玄関口であり、歴史の宝庫の入り口にふさわしい景観形成が求められます。
- 歴史的風致の維持向上
  - ・歴史的資源と住宅地との調和、固有の集落景観の維持保全を図る必要があります。

### ■データ

#### 【地区指定等】

- 風致地区
  - ・敷島
- 歴史的風致維持向上計画重点区域
  - ・総社及び総社山王地区
- 地区計画 ①大屋敷
  - ②前橋問屋団地

#### 【主な景観資源】



総社古墳群  
(国指定史跡)



天狗岩用水  
(世界かんがい施設遺産)



養蚕住宅群とかしぐね  
(前橋市景観資産)



総社秋元公歴史まつり



大渡橋から眺望する赤城山  
(前橋市景観資産)



一本木稲荷神社  
(前橋市景観資産)

### 【南橘地区】

## ■ 地区の特徴と課題

- 本市の大動脈の一つである国道17号沿線を中心に発展を続ける地区で、令和5年には国道17号上武道路沿いに「道の駅まえばし赤城」がオープンし、多くの来訪者を集めています。
- 赤城南麓の最西端に位置し、なだらかな傾斜地と広い平坦地で構成され、地区の4割は農地や古くからの住宅地で、6割は整然とした街並みの住宅地や商業地が広く分布しています。
- 広瀬川や桃ノ木川などが貫流する、赤城山と利根川に囲まれた風光明媚な土地であることに加え、大規模なスポーツ競技場や教育機関の集積も相まって、市内屈指の人口集積があります。
- 国道17号などの既存の幹線道路沿線で見られる屋外広告物の乱立への対応と、国道17号上武道路などの新たな幹線におけるこれからの道路景観のあり方が懸念されています。



## ■景観形成の方向性

- 国道17号の沿道景観のあり方
  - ・にぎやかなロードサイドにあっても、周辺との調和に配慮した沿道景観が求められます。
- 拠点施設の道路景観
  - ・道の駅まえばし赤城の周辺道路は、屋外広告物の適正配置には特に留意する必要があります。

## ■データ

【地区指定等】

- 風致地区  
・敷島  
・橘山

## ○地区計画

- ①上細井住宅団地  
②下細井住宅団地  
③北代田町東地区

【主な景観資源】



塩原家住宅  
(国指定重要文化財)



鎌倉坂

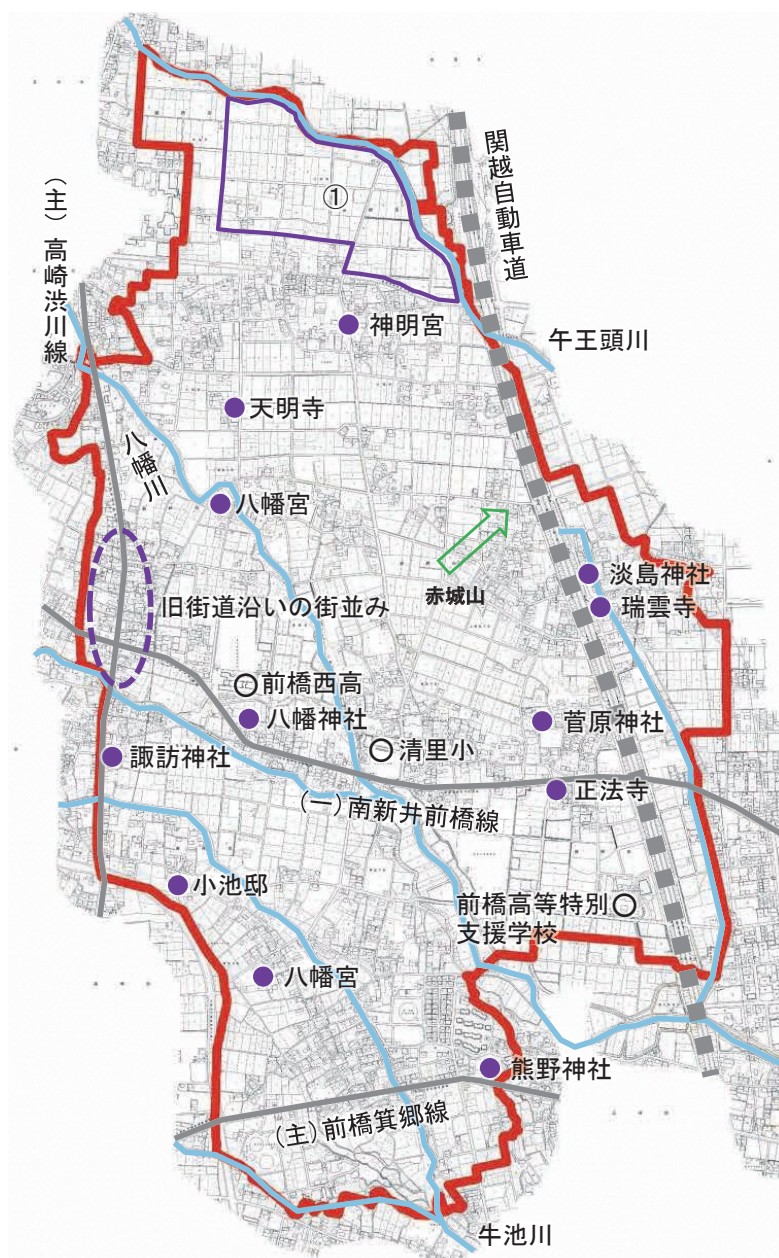


道の駅まえばし赤城

## 【清里地区】

### ■地区の特徴と課題

- 本市の最西端、榛名山の東麓に位置する当地区は、養蚕が盛んであった名残から現在も農地が多く、農村集落と主要幹線沿いの住宅地、地区南部の住宅団地で構成されています。
- 江戸時代に三国街道（佐渡往還）であった地区西部の県道沿いには、現在も重厚な蔵や板塀が残り、金古宿（高崎市金古町）から続く街道集落の古い街並みを垣間見ることができます。
- かつて高名な養蚕家を輩出した当地区には、現在も大型の養蚕農家住宅が点在しますが、蔵や板塀の街並みとともに減少傾向にあり、地区の歴史をいかに語り継ぐかが課題となっています。
- 関越自動車道駒寄スマートIC周辺では、ショッピングモールの開業（吉岡町側）や工業団地の開発計画などから、大型の建物や屋外広告物と地区景観の調和が懸念されています。



### ■データ

#### 【地区指定等】

- 地区計画
- ①駒寄スマートIC周辺地区

#### 【主な景観資源】



野良犬獅子舞（清野町八幡宮）  
（市指定重要無形民俗文化財）



旧街道沿いの街並み



養蚕農家・小池邸  
（前橋市景観資産）

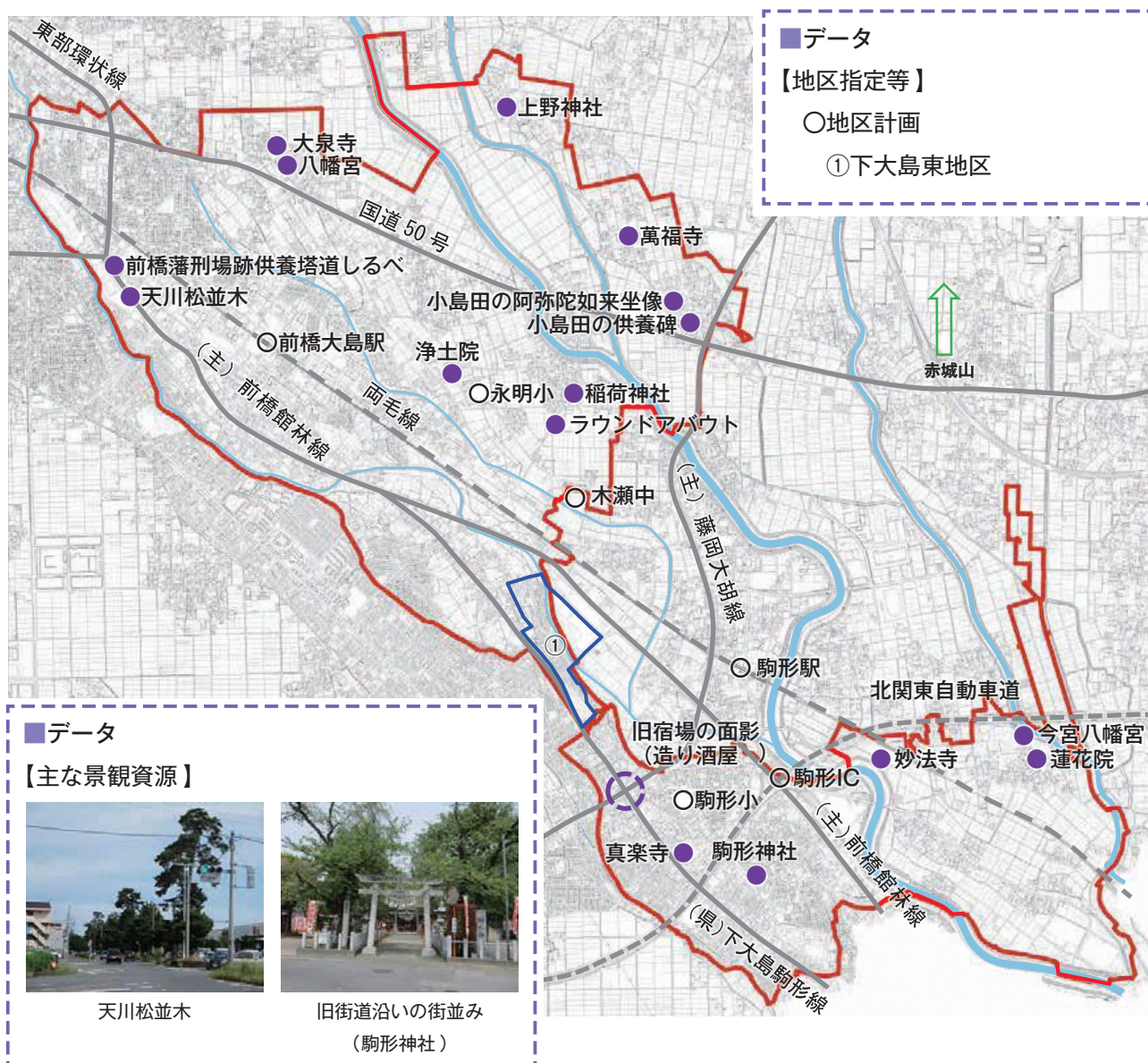
### ■景観形成の方向性

- 地区の歴史の継承
  - ・地区の誇りある歴史を語り継ぎ、保全する機運の醸成が求められます。
- 拠点施設の道路景観
  - ・駒寄スマートICの周辺道路は、屋外広告物の適正配置には特に留意する必要があります。

## 【永明地区】

### ■地区の特徴と課題

- 本庁管内に隣接する区域と南方の飛び地となっている区域では、整然とした街並みの住宅地と工業地が見られ、東部には古くからの住宅地と平坦な農地、農村集落が広がっています。
- この地はかつて古利根川の河道であったことから、河原石が含まれる砂地でも良く育つ梨の栽培が古くから盛んで、広い範囲で果樹園や直売所が建ち並ぶ風景を見ることができます。
- 地区西部の県道沿いの古い松並木や、明治時代に創業した造り酒屋、戦国時代に創建した古社、国道50号から見える赤城山を背景とする田園風景などが特徴的な景観です。
- 北関東自動車道や国道50号、JR両毛線が地区内を縦横に通っており、交通利便性が高い反面、地域の一体感の醸成や周辺景観との調和、屋外広告物の乱立などが懸念されています。



### ■景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観の保全
  - ・当地区の特徴である景観資源や赤城山の眺望を保全する景観形成施策が求められます。
- 主要幹線の道路景観
  - ・交通量の多い幹線道路沿いでは、屋外広告物の適正配置には特に留意する必要があります。

## 【城南地区】

### ■地区の特徴と課題

- 赤城南麓の緩やかな傾斜からなる水田地帯で、田園の中に農村集落が点在する風景が大半を占め、一部の区域には整然とした街並みの住宅地や工業団地が見られます。
- 大室古墳群に象徴されるように、当地区には数多くの歴史的資源があり、中でも赤城山信仰に由来する古社や伝統行事が残る区域は、歴史的風致が認められる範囲となっています。
- JR駒形駅の北側には、学校法人が運営するこども園から大学までの各教育施設が集積し、周辺には複数の専門学校も立地していることから、学園都市を想起させる街並みとなっています。
- 北関東自動車道や国道50号、国道17号上武道路、JR両毛線が地区内を縦横に通っており、地域の一体感の醸成や周辺景観との調和、屋外広告物の乱立などが懸念されています。

### ■データ

#### 【地区指定等】

- 地区計画
  - ①荒砥工業団地
  - ②富田地区（一部）
  - ③多田山産業団地
  - ④東大室地区
- 歴史的風致が認められる範囲
  - ・二之宮町の一部
  - ・下大屋町の一部

#### 【主な景観資源】



大室古墳群  
(国指定史跡)



産泰神社  
(県指定重要文化財)



寝姿観音と田園逆さ赤城  
(前橋市景観資産)



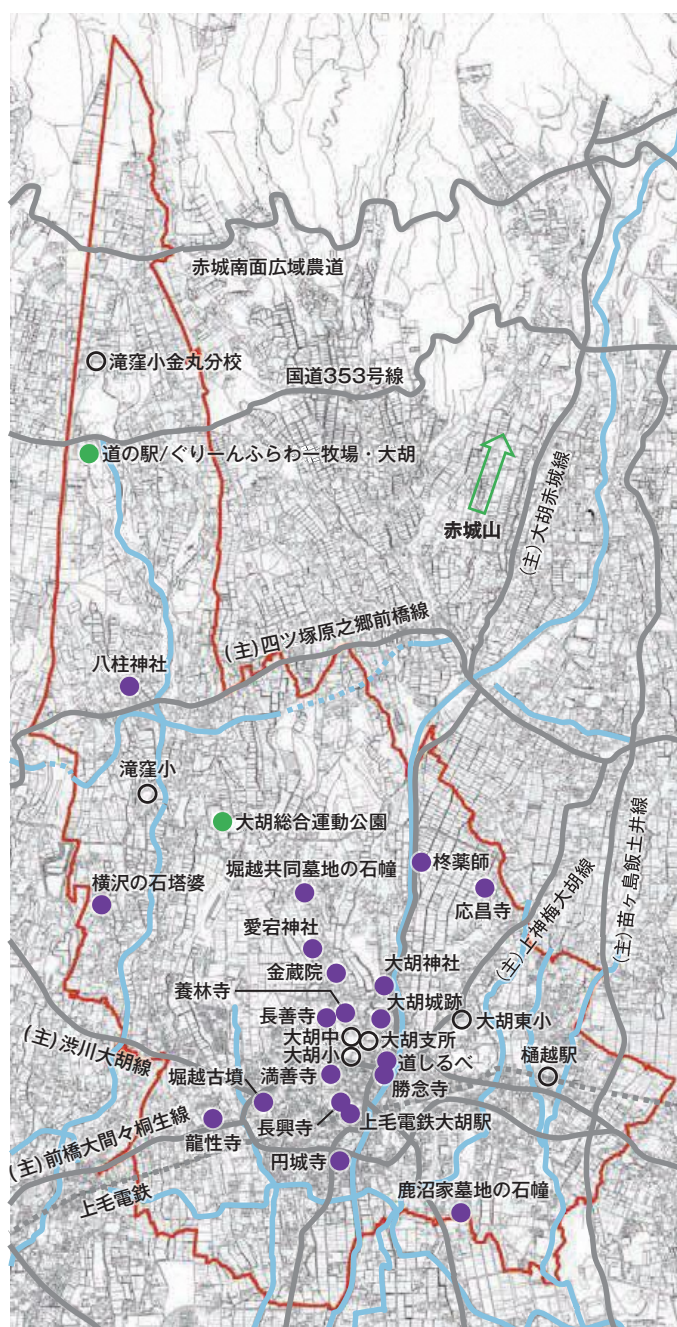
### ■景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観と歴史的風致の保全
  - ・当地区の特徴である景観資源や歴史的風致、農村景観を保全する景観形成施策が求められます。
- 主要幹線道路沿いの景観
  - ・交通量の多い幹線道路沿いでは、屋外広告物の適正配置には特に留意する必要があります。

## 【大胡地区】

### ■地区の特徴と課題

- 赤城の裾野に位置し、北部は山林が占め、南部は農地・農村集落、上毛電鉄沿線や主要道路沿いは古くからの整然とした街並みの住宅地や新興住宅地、商業地が広がっています。
- 大胡城の城下町・日光裏街道の宿場町として栄えた区域には、大胡城跡や歴史ある寺社が多く残るほか伝統行事も継承されており、歴史的風致が認められる範囲となっています。
- 地区の中央を流れる荒砥川沿いは南方に視界が開け、豊かな緑と高い空を感じられるとともに、川沿いの土手には季節感のある風景が見られ、特徴的な地区景観を形成しています。
- 道の駅ぐりんふらわー牧場・大胡は本市の観光資源の一つですが、近年、周辺の農地や森林で太陽光発電設備の設置が増加しており、自然環境や景観面への影響が課題となっています。



### ■データ

#### 【地区指定等】

- 歴史的風致が認められる範囲
  - ・大胡町の一部
  - ・堀越町の一部
  - ・河原浜町の一部

#### 【主な景観資源】



大胡城跡  
(県指定史跡)



上毛電気鉄道大胡駅駅舎  
(国登録有形文化財)



道の駅  
ぐりんふらわー牧場・大胡



養林寺の山門  
(前橋市景観資産)

### ■景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観と歴史的風致の保全
  - ・当地区の特徴である荒砥川沿いの風景や歴史的風致を保全する景観形成施策が求められます。
- 太陽光発電設備の適正設置
  - ・地区北部で増加している太陽光発電設備と自然環境・景観との調和を考える必要があります。

# 【宮城地区】

## 地区の特徴と課題

- 赤城の裾野から荒山山頂までを範囲とする当地区は、その約半分が山林に覆われ、見晴らしが良い高標高地には別荘地が点在し、緩斜面地には農地と農村集落が広がっています。
- 古くは旧石器時代からの遺跡や古墳、石造物など数多くの歴史的資源が残されており、特に、赤城山信仰の本山とされる神社と参道沿いは、歴史的風致が認められる範囲となっています。
- 赤城南面千本桜、歴史ある寺社、釣り堀、赤城温泉郷など、数多くの観光資源がある一方で、観光地としての景観的なまとまりの弱さが指摘されています。
- 近年、観光施設や歴史的資源、別荘地などの周辺で太陽光発電設備の設置が増加しており、自然環境や景観面への影響が課題となっています。



## データ

### 【地区指定等】

- 歴史的風致が認められる範囲
  - ・三夜沢町の一部
  - ・柏倉町の一部

### 【主な景観資源】



三夜沢赤城神社参道松並木  
(前橋市景観資産)



赤城南面千本桜



阿久沢家住宅  
(国指定重要文化財)



馬場の大燈籠  
(市指定史跡)

## 景観形成の方向性

- 観光資源、農村景観、歴史的風致の活用
  - ・当地区の特徴である観光資源、農村景観と歴史的風致を生かした、まとまりのある景観形成が求められます。
- 太陽光発電設備の適正設置
  - ・観光施設や歴史的資源の周辺で増加している太陽光発電設備と自然環境・景観との調和を考える必要があります。

## 【粕川地区】

### ■地区の特徴と課題

- 南北に長く広がる当地区は、勾配の強い北部のほとんどが山林で、勾配が緩くなるにしたがい農地や農村集落が増え始め、平坦な南部は広大な農地の中に住宅地や工業地が点在しています。
- 旧石器時代の遺跡や、古墳、戦国期の城跡など数多くの歴史的資源が残されており、特に赤城山信仰に由来する伝統行事が伝わる集落は歴史的風致が認められる範囲となっています。
- 南部を上毛電鉄が横断しており、その沿線では、田園地帯を通過する電車と赤城山の構図が非常に美しく見える場所があり、多くの写真家・鉄道愛好家を惹きつけています。
- 北部には山林や室沢の棚田などの農村景観が残されていますが、近年、それらの周辺で太陽光発電設備の設置や別荘地が増加しており、自然環境や景観面への影響が課題となっています。

### ■データ

#### 【地区指定等】

- 地区計画
  - ①粕川町込皆戸地区
- 歴史的風致が認められる範囲
  - ・粕川町月田の一部

#### 【主な景観資源】



月田近戸神社の獅子舞  
(県指定重要民俗文化財)



滝沢の不動滝  
(県指定名勝)



室沢の棚田



深津稻荷山から望む赤城山  
(前橋市景観資産)

### ■景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観と歴史的風致の保全
  - ・当地区の特徴である赤城山の眺望や歴史的風致、自然景観を保全する景観形成施策が求められます。
- 太陽光発電設備の適正設置
  - ・自然資源の周辺で増加している太陽光発電設備と自然・農村景観との調和を考える必要があります。



# 【富士見地区】

## ■地区の特徴と課題

- 赤城山の山頂を含む当地区は、その約半分が山林に覆われ、南下するにしたがい農地や農村集落が増えていき、南部の一部区域には整然とした街並みの住宅地や商業地も見られます。
- 赤城大沼周辺は多くの観光客が訪れる主要観光地であると同時に山岳信仰の象徴的な場所でもあり、その登山道も含めた区域一帯は、歴史的風致が認められる範囲となっています。
- 国道353号をはじめ地区を横断する道路沿いは、緩やかな傾斜地に広く視界の開けた農地が数多くあるため眺望に優れ、その夜景は特に「前橋プラチナ夜景」と称されています。
- 山頂域へ至る主要県道は、赤城山を訪れる際のメイン観光ルートですが、近年、沿線で太陽光発電設備の設置が増加しており、自然環境や景観面への影響が課題となっています。

## ■景観形成の方向性

- 赤城大沼周辺の歴史的風致と景観
  - ・赤城大沼周辺にみられる歴史的風致の保全と、赤城山景観ガイドラインを生かした景観形成が求められます。
- 太陽光発電設備の適正設置
  - ・主要県道の沿線で増加している太陽光発電設備と自然環境・農村景観との調和を考える必要があります。



## ■データ

### 【地区指定等】

- 歴史的風致が認められる範囲
  - ・富士見町小暮の一部
  - ・富士見町赤城山の一部

### 【主な景観資源】



赤城大沼のアイスバブル  
(前橋市景観資産)



山開きの神事  
(赤城神社)



横室の大力ヤ  
(国指定天然記念物)



赤城山大鳥居  
(前橋市景観資産)

## 4 | 景観資源と景観特性

市民アンケート等で多くの意見が寄せられた「自然豊か」、「静かさ」、「落ち着き」といった本市の景観特性をより詳細に把握するため、地域における景観的な特徴を基に地域固有の風景や施設などを景観資源として捉え、それらを分析した結果、前橋らしさを象徴する4つの景観特性が浮かび上がりました。

### (1) 景観特性1「水と緑」

#### ①日本百名山「赤城山」が創り出す眺め

黒檜山、駒ヶ岳、地蔵岳などからなる赤城山は、古くは畏敬の対象として、現在では本市のシンボルとして多くの市民に親しまれ、本市を象徴する原風景の一つに数えられています。特に、東西に長く裾野を広げた雄大な姿は、市内の至るところから眺望できるため、それぞれの地域に固有の赤城山の眺めがあるとされ、本市で活動する人々の心象風景に多大な影響を及ぼし、赤城山は景観に関するアンケートでも幅広い世代から選好されています。

これらを大切に守り、未来を担うこどもたちに受け継いでいくためには、地域から見える赤城山、赤城山から見える地域、双方の眺めを保全するとともに、建築物や工作物、屋外広告物などの配置・形態・意匠・色彩などについては、遠景の赤城山との調和に十分配慮する必要があります。

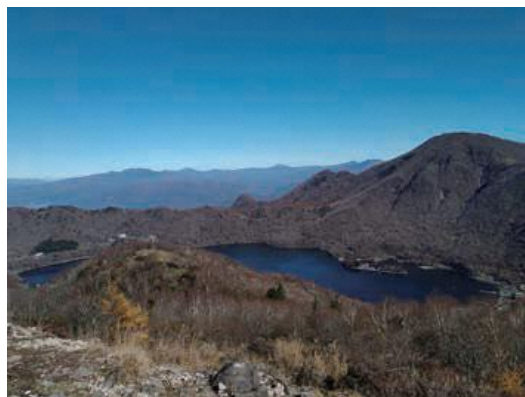
《求められる取り組み》

【赤城山の眺め・赤城山からの眺めの保全】

【赤城山と調和する建築物等の配置掲出等】



群馬大橋付近から望む赤城山（景観資産）



地蔵岳から望む大沼（景観資産）

#### ②水の恵みの源泉（河川軸＋湖沼）

利根川や広瀬川、桃ノ木川をはじめとする大小無数の河川や、赤城山の大沼、小沼に代表される湖沼は、水に由来する本市の地域特性の源であり、大切な景観資源でもあります。

こうした水の恵みを継承するためには、周辺環境の保全に努めるとともに、生活区域に隣接する河川や水路については、水辺のほとりや橋からの眺めに配慮し、山並みや街並みと調和した水辺空間を創出する必要があります。

《求められる取り組み》

【山並みや街並みと調和した水辺空間の創出】



広瀬川河畔と比刀根橋（景観資産）

### ③豊かな食文化を育む田園風景（田園地区）

本市が誇る地域特性の一つである食文化。その象徴が、市内の至るところで見られる田園風景です。上川淵・下川淵地区の「美田」と称される田園、赤城山の扇状地に緩やかに傾斜して広がる農地、粕川町室沢の棚田など、地域ごとに特徴的な農の風景があり、隣接する集落の街並みと相まって美しい農村風景を構成しています。

こうした風景を守ることは、農業の持続性を高め、食にまつわる本市の地域特性を維持することにつながります。集落地における街並みの保全とともに、山並みとの調和や都市部からの眺望などに配慮した田園風景の保全が必要です。

《求められる取り組み》

【集落地における街並みの保全】

【山並みとの調和、都市部からの眺望への配慮】



赤城山の寝姿観音と田園逆さ赤城（景観資産）



端気町から眺望する赤城山（景観資産）

### ④地域を彩る樹木群や大木

市中心部の風景を印象づけるケヤキ並木、市街地の街路を彩るイチョウやハナミズキ、旧街道に沿って立ち並ぶ松並木など、それぞれの地域にランドマークとなる樹木群や大木があります。

これらは、美しい風景を創り出す要素であるとともに、住む人の原風景となつて残る大切な財産です。周辺環境との調和に配慮しながら、樹木群や大木のあり方を模索する必要があります。

《求められる取り組み》

【周辺と調和した樹木のある風景のあり方】



前橋八幡宮のイチョウ（景観資産）

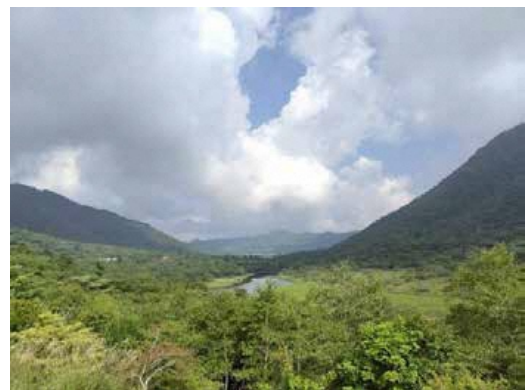
### ⑤スローシティを支える豊かな緑（森林地区）

平成29年に、本市の赤城地域がスローシティ国際連盟から認定され、本市の地域特性の一つに加わりました。これを象徴するのが、赤城山の広大な森林であり、緑に映える風景は、遠方からも本市の自然の豊かさを感じることができます。

引き続き、森林がもたらす緑の風景を壊さないよう、建築物等の配置掲出にあたっては、周辺環境との調和を十分に配慮する必要があります。

《求められる取り組み》

【緑の風景との調和への配慮】



鳥居峠から覚満淵方面の眺望（景観資産）

## (2) 景観特性2「風格と質感」

### ①近代前橋を象徴する明治の面影

本市では古くから養蚕が盛んで、明治時代には製糸業が隆盛を極め、市内の至るところで製糸工場や繭糸を保管するレンガ倉庫が見られました。現在では数軒が残存するのみですが、県庁・市役所周辺にはレンガ調外壁の建物が散見され、往時の姿を思い起こさせてくれます。また、国指定重要文化財である臨江閣は、当時最盛期を誇った生糸商らの尽力によって建設されたもので、その威風堂々とした佇まいから、先人たちの気概や活力を感じ取ることができます。

景観に関するアンケートでは、臨江閣は若年層を含む幅広い年代から選好されています。

このように、今なお息づく明治の面影は、本市の景観を特徴づける大切な要素です。これらの歴史遺産を保全するとともに、歴史や物語を感じられる街並みの創出が求められます。

《求められる取組み》

【近代歴史遺産の保全】

【歴史性や物語性のある街並みの創出】



前橋市芸術文化れんが蔵（景観資産）



臨江閣（景観資産）

### ②水と緑と詩のまちの原風景

「水と緑と詩のまち」は、昭和58年に制定された市民憲章の一文で、現在では本市のキャッチフレーズとして広く定着しています。水・緑・詩の3つの要素は、具体的イメージを特定するものではありませんが、とりわけ中心市街地を流れる広瀬川に関しては、豊富な水量と川面に映る柳の緑、日本近代詩の父・萩原朔太郎が詠んだ「広瀬川」の詩のイメージが相まって水と緑と詩のまちを象徴する風景と称されています。

この素晴らしい風景を後世に引き継ぐため、地元住民を中心とする協議が重ねられ、平成29年には景観形成重点地区に指定されました。今後も引き続き、広瀬川河畔の環境保全とともに、より質の高い街並み景観を目指す必要があります。

《求められる取組み》

【広瀬川河畔の環境保全】

【質の高い街並み景観の創出】



広瀬川の流れ



再整備された広瀬川河畔の遊歩道

### ③誇り高き県都の顔（都市拠点）

前橋駅から群馬県庁へと続くケヤキ並木は、本市の落ち着きのある景観を象徴する目抜き通りで、中心商店街と接する国道50号の一部区間は、旧計画では景観形成モデル地区に指定されました。また県庁・市役所周辺は、かつての前橋城内にあたり、県庁昭和庁舎や群馬会館などの高質な近代建築物と中近世の城郭土塁が隣り合い、現代的な高層建築物の間を縫うように流れるお堀跡の水路が、潤いと風格のある街並みを醸し出しています。

こうした風景は、城下町としての歴史と、130年にわたる県庁所在地としての歴史の積み重ねがあつてのものです。今後も、他都市に誇れる質感のある街並みを保全し、県都にふさわしい都市空間を持続する必要があります。

《求められる取組み》

【他都市に誇れる質感のある街並みの保全】

【県都にふさわしい都市空間の持続】



前橋駅前ケヤキ並木通り（景観資産）



群馬県庁昭和庁舎（景観資産）

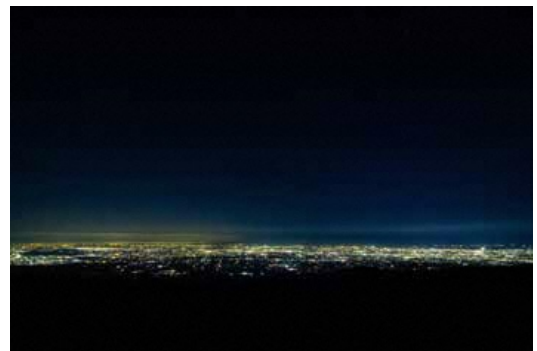
### ④前橋プラチナ夜景と夜間景観

夜間に赤城南面の傾斜地から見渡す市街地は、「前橋プラチナ夜景」と称される美しさで、テレビ番組などでたびたび紹介されています。

傾斜地からの眺望と市街地の夜間景観のあり方を研究し、新たな景観資源として定着するよう、一定のルールづくりが求められます。

《求められる取組み》

【新たな景観資源の定着に向けたルールづくり】



赤城南面から見た夜景

### (3) 景観特性3「地域性と歴史性」

#### ①東国文化の足跡

群馬県はかつて、古墳時代から平安時代にかけて栄えた東国文化の中心地であったとされ、市内には数多くの古墳が残されています。とりわけ、世界記憶遺産・山上碑に記された「放光寺」跡と推定される総社地区の山王廃寺跡や、元総社地区の上野国府跡（推定）は、当時の政治情勢を推察する重要な手がかりであるとともに、本市のみならずわが国の歴史を物語る貴重な財産でもあります。

時代に応じて、各史跡の保存状態や形状はそれぞれ異なりますが、今後も日常の中で静かに息づき、将来にわたって存在し続けることが何より重要です。東国文化に関わる歴史遺産の保全と、それらが自然な形で同居する、落ち着いた市街地景観のあり方を持続する必要があります。

《求められる取り組み》

【東国文化に関わる歴史遺産の保全】

【史跡と同居する落ち着いた市街地景観】



総社二子山古墳（国指定史跡）



山王廃寺跡の石製鳩尾（しび）

#### ②暮らしを支えた養蚕の歴史

本市は明治時代に製糸業が隆盛を極め、全国初となる洋式器械製糸を導入した藩営前橋製糸所の技術が全国各地へ伝わり、わが国の近代化・工業国化の土台を築きました。こうした製糸業の躍進を支えたのが、江戸時代から盛んであった養蚕業です。昭和初期まで、市内の至るところに蚕の飼料となる桑畑が広がり、防風林である「桎ぐね」に囲まれた天窓付きの養蚕農家があちこちに立ち並んでいました。

昭和の大恐慌によって製糸業・養蚕業ともに衰退し、いまでは総社地区の一部集落を除いてまとまった養蚕農家集落はほとんどなくなり、各地に点在するのみとなりました。生糸のまちとしての歴史を後世に伝えるため、残存する養蚕農家や集落風景の保全について模索する必要があります。

《求められる取り組み》

【養蚕住宅・集落風景の保全のあり方の模索】



小池邸（景観資産）



総社山王の養蚕住宅群と「かしぐね」（景観資産）

### ③戦国の世を偲ぶ城址群

15～16世紀の戦国期、本市では激しい領地争いが展開され、赤城丘陵の末端の台地には、横に連続するように多くの城が築られました。

現存するいくつかの城跡は、地域を象徴する景観資源であるとともに、歴史を物語る生きた教材として、今後も適正な保全が必要です。

《求められる取組み》

【景観資源・生きた教材としての適正な保全】



大胡城跡（県指定史跡）

### ④各地に残る赤城山信仰の総本山

赤城山は太古から信仰の山として崇められ、五穀豊穡をはじめとする多くの祈りが捧げられてきました。その依り代が、関東を中心に全国に約300社あるといわれる「赤城神社」です。市内には数多くの赤城神社があり、中でも大洞赤城神社や三夜沢赤城神社、二宮赤城神社はその中心的な社といわれ、全国から多くの参拝者が訪れます。

こうした赤城山信仰を体現する神社やその周辺の風景は、将来にわたって保全すべき大切な景観資源です。今後も厳粛な雰囲気を保てるよう、周辺環境のあり方に配慮する必要があります。

《求められる取組み》

【赤城山信仰に関わる神社や周辺風景の保全】

【厳粛な雰囲気を保つ周辺環境のあり方】



三夜沢赤城神社



赤城山大鳥居（景観資産）

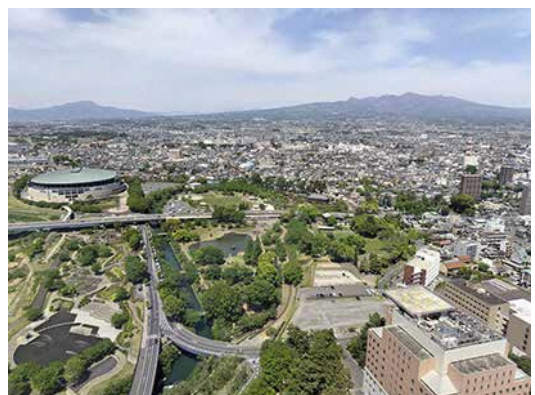
### ⑤落ち着いたある身近な住環境（既成市街地）

中低層の住宅が連続した市街地は、日常生活で最も目にする身近な風景です。

公園などの公共空間や河川や街路樹などの自然資源、鳥居や石碑などの歴史文化資源と家並みが調和し、遠景に広がる山並みや田園風景と相まった豊かな居住環境を目指す必要があります。

《求められる取組み》

【豊かな居住環境の創出】



既成市街地と緑豊かな前橋公園

## (4) 景観特性4「やさしさと心地よさ」

### ①地域生活の核となる拠点空間（都市拠点・暮らしの拠点）

市役所や旧町村の役場（支所）などの公共施設周辺、鉄道駅や高速道路ICなどの交通結節点の周辺は、その利便性の高さからさまざまな都市機能が集積し、多くの人々が暮らす拠点を形成しています。人口減少時代においては、こうした拠点的エリアに人口集積を進めることが都市政策の基本であるとされ、今後ますます、その求心性を高めることが求められます。

そのためには、機能的な利便性のみならず、心地よさや安らぎといった、住む人や訪れる人が感じる心理面への配慮が重要となります。ユニバーサルデザインの考え方を基本に、拠点的エリアにおける美観の維持・向上を図り、成熟社会にふさわしい街並み形成を模索する必要があります。

《求められる取組み》

【拠点的エリアの美観の維持・向上】

【成熟社会にふさわしい街並み形成】



大胡支所周辺の街並み



前橋南IC周辺の大型店舗

### ②計画的に整えられた住宅地（住宅団地）

住宅団地に見られる整然とした区画割と家並みは大変美しく、庭先や供用スペースを彩る植栽は、穏やかで平和な住環境を印象付けます。

今後、世代交代による建物の減失や更新があっても、引き続き良好な風景を保てるよう、住民による自発的な保全活動の活性化が必要です。

《求められる取組み》

【自発的な保全活動の活性化】



住宅団地の整然とした家並み（ローズタウン）

### ③活力とにぎわいの源（商業・業務地）

商業施設や業務用ビルの集積地は、都市の活力やにぎわいを象徴する空間です。特に、古くから続く商業地や業務地では、高層ビルと低層の店舗が混在する中に、歴史的な近代建物や公共建築が点在し、裏通りにはかつての町割りの名残であるレトロな路地空間が見られるなど、多様性のある風景が形成されています。しかし、従来からの商業地は全国的に活力低下の傾向にあり、空き店舗や露天駐車場の増加による「スポンジ化現象」が進行し、大きな課題となりつつあります。

今後、商業地再生に向けた商業振興や都市整備との連携を図る中で、にぎわいが感じられるファサード※の形成、魅力的な歩行空間やオープンスペースのあり方などを模索する必要があります。

《求められる取組み》

【にぎわい感のあるファサードの形成】

【歩行空間・オープンスペースのあり方】

※ファサード：建物の正面



弁天通名店街アーケード（景観資産）



馬場川通り（夕焼けマルシェ）

### ④自然環境と産業の調和（工業地）

工業施設はその性質上、周辺環境への配慮が欠かせませんが、それは景観面においても同様で、周囲に圧迫感を与えず、背景となる赤城山や青空とのつながりを重視する必要があります。

周辺環境と調和し、親しみやすさのある工業地を目指す必要があります。

《求められる取組み》

【親しみやすい工業地のあり方】



周辺環境の整えられた工業施設（朝倉工業団地）